



和解剤

『わかる中医学入門』では、和解剤と疏肝理気が一緒になっています。

和解剤とは

透邪・解鬱・調和によって病態を治す。具体的には以下2つの役割がある。

- ① 八法の「和法」で半表半裏・少陽（胆・三焦）の病邪を取り除く
- ② 臓腑間の不和を調和させる

しょうさいことう

小柴胡湯（医療用漢方製剤）

半表半裏証の基本方剤。応用範囲は広い！

柴胡で半表の邪を透解し、黄芩で半裏の邪を清泄する。少陽（胆経・三焦経）の邪気を解消させるだけでなく、肝鬱化火、肝気犯胃、肝脾不和、肝気犯肺など臓腑間の不和を調和させる薬効もある。

組成：柴胡 黄芩 半夏 人參 生姜 甘草 大棗

効能：和解半表半裏 疏肝解鬱 補気健脾 和胃止嘔

主治：半表半裏証 肝鬱化火 脾気虚 痰湿

症状の目安：発熱 往来寒熱（悪寒と熱感を交互に繰り返す） 胸脇苦満 口が苦い

口渇 目がくらむ 喉が渇く 食欲不振 悪心 嘔吐 腹痛 咳嗽 小便不利

悪心 嘔吐 食欲不振 疲れやすい 咳嗽 喘息 肺炎 多痰 蕁麻疹など

【小柴胡湯の合方】

さいかんとう

柴陷湯 小柴胡湯合小陷胸湯

さいぼくとう

柴朴湯 小柴胡湯合半夏厚朴湯

さいれいとう

柴苓湯 小柴胡湯合五苓散

【小柴胡湯加減】

しょうさいことうかききょうせつことう

小柴胡湯加桔梗石膏

さいこけいしとう

柴胡桂枝湯

だいさいこうとう

大柴胡湯（医療用漢方製剤）

少陽陽明合病、小柴胡湯の適応症より裏熱が強い人に

半表半裏証に加え、心下（陽明）に裏熱がある場合は大柴胡湯が選択肢となる。

また肝鬱化火によって肝気上昇の勢いが強く上半身や胃腸に熱や湿（熱結）がこもり、上半身や胃腸の気が停滞したことによる諸症状にも適応する。

組成：柴胡 黄芩 半夏 枳実 白芍 大黄 生姜 大枣

効能：理気活血 気血双補 清心瀉火

主治：和解少陽 疏肝解鬱 瀉下熱結

症状の目安：発熱、往来寒熱、胸脇苦満、口が苦い、口渇、めまい、頭痛、寝つきが悪い
食欲不振、悪心、嘔吐、咳嗽、小便不利、みぞおち、胃の痞え（硬い、脹る、痛い）
腹部膨満感、ガスが多い、腹痛、便秘（または下痢）など

しぎやくさん

四逆散（医療用漢方製剤）

ストレスなどで気が巡らず手足が冷える時などに

熱邪が裏に入ってくもると、少陽（胆・三焦）の陽気が鬱して巡らなくなり、結果的に四肢・手足が冷たくなる。これを熱厥（四逆・四肢逆冷）と言い、四逆散の適応範囲である。また肝気鬱結、肝脾不和（肝気横逆）、三焦（少陽）の流れの停滞にも適応する。

組成：柴胡 白芍 枳実 甘草

効能：疏肝解鬱 理気止痛

主治：肝気鬱結 熱厥 肝脾不和

症状の目安：四肢の冷え（手足の末端が冷える）、胸脇苦満、胸腹の灼熱感、目の充血
口渇、イライラ、怒りっぽい、憂鬱、月経不調、便秘、尿色が濃い、
腹痛、胸脇苦満、腹部膨満感、ガスの停留、食欲不振、悪心、嘔吐、下痢
咳嗽、痰、尿量減少など

【四逆散加減】

さいこそかんさん

柴胡疏肝散

かみしょうようさん

加味逍遙散 (医療用漢方製剤)

肝鬱化火・血虚・脾気虚が揃ったら

「逍遙散」に牡丹皮・山梔子を加えたもの。肝気鬱結(化火)、血虚、脾気虚(運化失調)が入り混じり、3つは因果関係がある状況に適応する。消化力が弱く血虚かつ血の巡りが悪く、肝鬱化火や心火によって体の上部に熱がたまっているタイプに向く。

組成：柴胡 当帰 白芍 白朮 茯苓 生姜 薄荷 甘草 牡丹皮 山梔子

効能：疏肝解鬱 清熱瀉火(涼血) 健脾養血

主治：肝鬱化火 血虚 脾気虚

症状の目安：イライラ 怒りっぽい 憂鬱 胸脇苦満 胸苦しい 胸のつかえ のぼせ ほてり 多汗 微熱 口や喉が乾燥する 目の充血 頭痛 めまい 動悸 不眠 便秘 月経不順 経血量が少ない 衝任失調(不正性器出血など) 肩こり 頭痛 シミ クマ 腫瘍 腫瘍 しびれ 皮膚にツヤがない 口や喉の乾燥 めまい 盗汗 食欲がない 消化不良 もたれる 疲れやすい 手足がだるい 全身倦怠感 自汗など

【加味逍遙散加減】

じいんしほうとう

滋陰至宝湯

しゃくやくかんぞうとう

芍薬甘草湯 (医療用漢方製剤)

突発性の痙攣性疼痛に頓服として

白芍と炙甘草の組み合わせは、肝陰を増やすことで「肝の機能的な騒ぎ」をしずめる為、痙攣性の疼痛を止める。また肝陰不足が原因で肝気旺盛となった状況をしずめる性質があるため、「白芍+炙甘草」は肝陰虚の治療として多くの方剤に組み込まれている。

組成：白芍 甘草

効能：柔肝解痙 緩急止痛

主治：肝陰不足(肝血虚・肝陰虚) 肝気乗脾

症状の目安：イライラ 怒りっぽい 憂鬱 胸脇苦満 胸苦しい 胸のつかえ のぼせ ほてり 多汗 微熱 口や喉が乾燥する 目の充血 頭痛 めまい 動悸 不眠 便秘

はんげしゃしんとう

半夏瀉心湯（医療用漢方製剤）

脾胃不和による胃のつかえ、嘔吐に。

心下（みぞおちのあたり）で気が滞り「気結」「寒熱互結」が生じた状況を打開する。

辛開苦降法によって昇降を調和させ、痞結を開通させる方剤としても有名。

組成：**半夏 黄芩 黄連 乾姜 人参 大棗 甘草**

効能：調和脾胃 寒熱平調 散結除痞

主治：脾胃不和 寒熱互結之痞

症状の目安：心下痞（みぞおちの痞え）、膨満感、悪心、嘔吐、げっぷ、胸やけ、腹鳴、軟便、下痢など

【半夏瀉心湯加減】

おうれんとう

黄連湯